

山口大学大学院創成科学研究科 教員公募

1. 公募人員

助教（特命） 1 名

2. 所属

山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 応用化学分野（工学部応用化学科）

3. 担当研究分野概要

当分野では、高分子から低分子を含む幅広い有機系応用化学の研究分野（例えば、高分子合成化学、重合化学、有機合成化学、素反応開発、触媒反応開発、有機金属錯体化学、天然物合成化学、典型元素化学、構造有機化学、有機物理化学、有機材料化学など）に素養がある方を1名募集する。

具体的には、R5年度に研究代表として採択されたALCA NEXT「資源循環領域：採択課題名(電子応答性コアブロック搭載材料の資源循環)」に関する研究に従事していただく。本プロジェクトはスモールフェーズ3.5年と加速フェーズ3年に分かれて実施する。加速フェーズには、中間審査を通ったチームのみが従事することができるため、それを一緒に協力して乗り越えてくれる研究者を募集する。（なお、加速フェーズに進んだ場合には、それまでの業績により准教授（特命）に配置転換する。）

学内にはSciFinderやオンライン図書が完備されており主要なジャーナルは閲覧可能である。さらに、本学は文科省コアファシリティ事業に採択されており、3台のNMRや精密質量測定装置、TEMなど多くの大型共通機器が配備されており、研究遂行に何ら問題はなく、幅広く力強い研究を展開可能である。

4. 担当教育分野

大学院創成科学研究科 工学系学域 応用化学分野

5. 任期

2.4年、加速フェーズに採択された場合にはさらに3年
また、加速フェーズに採択された際、配分額によってはそれまでの業績を考慮し、准教授（特命）への配置換を行う場合がある

6. 応募資格

以下に掲げる条件をすべて満たす者

博士の学位を有すこと（指導教員の意見書があれば着任時までに取得見込みの場合も可）

7. 研究分野

- ・ナノテク・材料—有機合成化学
- ・ナノテク・材料—高分子化学
- ・ナノテク・材料—高分子材料
- ・ナノテク・材料—有機機能材料

8. 待遇

給与等雇用条件は、本学の規則による。月給制を適用する。
年額約 500 万円（通勤手当、住居手当など各種手当を含む。）

9. 着任予定日

令和 6 年 11 月 1 日(相談により令和 7 年 4 月 1 日も可)

10. 応募締切

令和 6 年 7 月 31 日（水）17:00【日本標準時間】必着

11. 提出書類

- (1) 履歴書（写真を貼付し、連絡先（住所、電話番号、E メールアドレス）を明記のこと）
- (2) 研究業績（原著論文、総説、著書、国際会議論文、特許、外部研究費取得状況、その他に分けて記載すること）
- (3) 論文別刷 5 編以内
- (4) 現在までの研究概要（A4・2 枚程度、図表の使用可）
- (5) 今後の研究と教育に関する抱負（A4・2 枚以内、図表の使用可）
- (6) その他参考となる資料（学会活動、教育経験、受賞など）
- (7) 応募者について照会可能な方 1 名の氏名と連絡先
（所属・職名・勤務先住所・電話/FAX 番号・電子メールアドレスなど）

12. 選考方法

提出書類による書類選考及び面接、セミナー

※書類審査を通過した方には、対面でのセミナー及び面接による最終選考を行う場合があります。なお、対面でセミナー及び面接を実施した場合の旅費等は本人負担となります。

13. 応募書類の提出先及び照会先

JREC-IN の電子応募、又は郵送のどちらかで提出してください。

・電子応募の場合は上記（1）から（5）までを単一の PDF もしくは ZIP ファイルにまとめて、JREC-IN の電子応募機能を使って提出してください。

・郵送の場合は以下の宛先にお送りください。

【応募書類提出先・問い合わせ先】

山口大学大学院創成科学研究科(工学系学域)応用化学分野 教授 西形 孝司

TEL (0836) 85-9261

E-mail: nisikata@yamaguchi-u.ac.jp

提出書類を全て PDF 形式の添付ファイルとし、件名に「応用化学科化学工学分野特命助教応募」と記載し、E-mail で上記アドレスに送付してください。E-mail で書類提出後、3 日以内（土日祝日を除く）に受領確認メールが届かない場合には、お問い合わせください。

14. その他

- (1) 応募に係る個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切な取り扱いをします。
- (2) 山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第8条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。
- (3) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しています。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>